

## 古今集 第7巻の343首：祝辞

(ローマ字表記、英訳は省略)

343 首 作者不詳

天皇の長寿を願う詩。日本の国歌の歌詞は、この詩に由来している。

Laurel Rasplica Rodd、Mary Catherine Henkenius 著 『*Kokinshū: A Collection of Poems Ancient and Modern*』より引用した 343 首の翻訳を、原文日本語の違いに合わせて修正

## 古今集 第7巻の三首：祝辞

(ローマ字表記、英訳は省略)

343 首 作者不詳

天皇の長寿を願う詩。日本の国歌の歌詞は、この詩に由来している。

(ローマ字表記、英訳は省略)

### 第 347 首 光孝天皇

この歌は、光孝天皇（830-887）が歌人・遍照（816-890）の 70 歳の誕生日を祝って詠んだものである。遍照と光孝天皇は、和歌の作成や共有を通じ親密な関係を築いたと考えられている。

（ローマ字表記、英訳は省略）

### 第 348 首 僧正

この歌は、光孝天皇が親族の女性に贈った銀の杖を称賛し、僧正が詠ったものである。彼女の喜びを予感し、その美しさを称えている。

Laurel Rasplīca Rodd、Mary Catherine Henkenius 著 『*Kokinshū: A Collection of Poems Ancient and Modern*』より引用した歌の翻訳を、原文日本語の違いに合わせて修正